

研究主題

主体的に考え 学びをよりよくする子

～自分事として学び 学びの質を高める授業～

目指す子供像：学習内容を自分事として捉え、進んで他者と協働・対話することを通して、自分の考えを広げたり、深めたりし、学びをよりよいものにする子

研究仮説

「自分事として学び 学びの質を高める授業」を実践することにより、子供たちは「学びの実感」を積み重ねながら、学習内容を自分事として捉え、進んで他者と協働・対話し、自分の考えを広げたり、深めたりしながら学びをよりよいものにしていく「主体的に考え、学びをよりよくする子」に育つだろう。

授業研究・研究協議の充実

- ・事後研究協議は、2つの視点を基に子どもの表れを通して話し合い、今後の指導に生きるよう、具体的な指導方法や支援方法等について協議をしていく。

自分事として学び 学びの質を高める授業

学びの実感

学びの実感

学びの実感

学び手の視点に立った授業構想

- ・学習指導要領と子供の実態を基に、付けたい資質・能力を明確にする。
- ・子供の視点から教材の魅力を探る教材研究
- ・子供が自分事（目的意識や必要感）をもって学びたくなる、単元をつらぬく価値ある課題設定
- ・子供による学習計画づくりと修正

他者との協働・対話を通して、考えを広げたり深めたりしていく授業展開

- ・子供の思考過程を生かし、各教科の見方・考え方を働かせながら課題解決できるような授業
- ・発問の工夫
- ・子供同士の考えをつなぎ、思考を深めていく工夫（引き出す、気付かせる、考えさせる、つぶやきを拾う等）
- ・ロイロノートを中心としたICTの効果的な活用
- ・考えを広げたり深めたりする協働・対話

学びの振り返りや分析

- ・何ができるようになったのか、もっと知りたいことや課題について子供自身が認識できる場の設定
- ・学習計画を修正したり、学び方を振り返ったりできる場の設定（単元途中、終末）
- ・子供の学びの姿からの授業改善
- ・ロイロノートやノート等からの学びの変容の見取り
- ・学習ファイルの活用（ポートフォリオ）

学びの実感

学びの実感

学びの実感

道徳教育の充実

教科の見方・考え方

学級力向上プロジェクト

支持的な学級風土